

2025年7月27日(日)

国分寺キリスト教会

子どもと一緒にファミリー礼拝



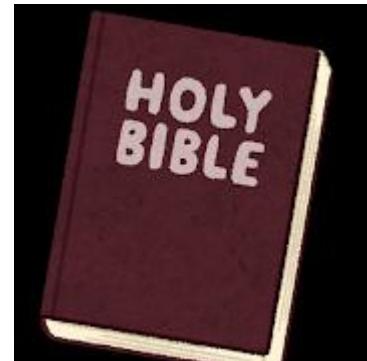
今日の聖書箇所

(せいしょかしょ)

詩篇(しへん)42篇1ー11節

せいしょをひらきましょう。

司会者とこうごに よみましょう。



きょうのメッセージ 「あなたの大滝の とどろきに」



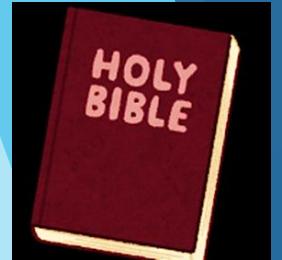
参考文献

1. 「詩篇を味わう」II -89篇 鍋谷堯爾 いのちのことば社
- 2 「新実用聖書注解」 いのちのことば社
- 3 いらすとや 無料イラスト



けさ、このかしょをひらく理由

- ① さきほど、賛美した曲は詩篇42篇
| 節からの賛美であり、そのあと的内容も学びたいと考えた
- ② 暑い日が続くので、「すずしいことば」が出てくるかしょを学びたいと考えた
→ 実際は重々しい内容の詩篇



詩篇42篇について

詩篇42篇 指揮者のために

- ・コラ人(Ⅱ歴代20:19)：モーセとアロンのいとこ「コラ」：賛美を導く人々
 - ・マスキー＝ル：意味は不明。
- 神を賛美する者たちの「指導」、「指揮」あるいは「教訓の詩」と考える人もいる。

詩篇42篇1–2節：

鹿 谷川の流れ(つまり水)を求める

私のたましい あなたを 求める

群馬県には「谷川岳」がある。



- **自分のたましいが生きておられる神様を
求めて、渴いていることの告白。**
- エルサレムの神殿で、神様を礼拝するこ
とができるいない状態。

イスラエルの「ワディ」(ヨルダン川の東)

雨期 水があふれてながれる

乾期 底が干上がってしまう



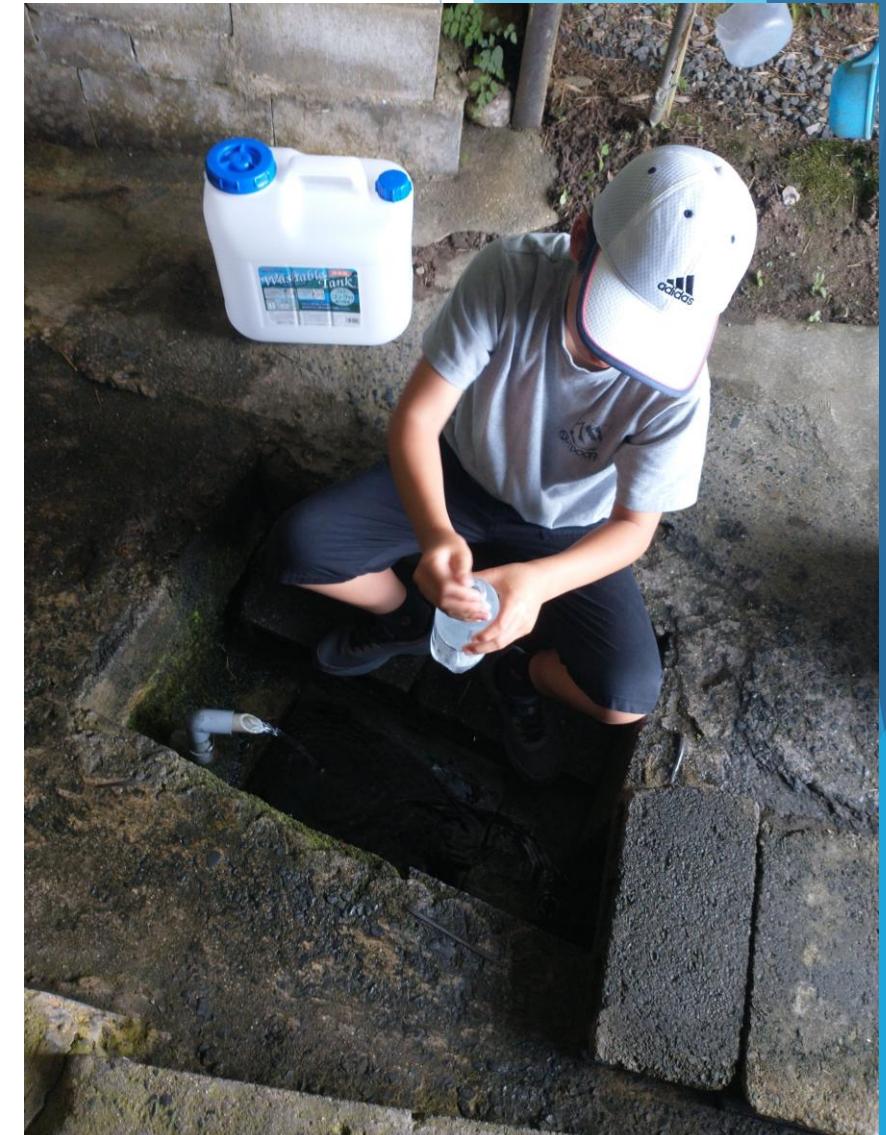
水がない状態で、鹿が水を求めている姿
たましいのかわきて、神を求める姿

詩篇42篇

- ・どのような歴史的背景の中で歌われたのか?
→いろいろな説がある。
- ・美しい渓谷を流れる小川の川辺で、鹿が楽しそうに水を飲んでいるイメージではなく、水がない、きびしい状態。

人間にとつて、のどの「かわき」をいやす
ために「水」は必要。

「楠井(くすい)の泉」(町内)



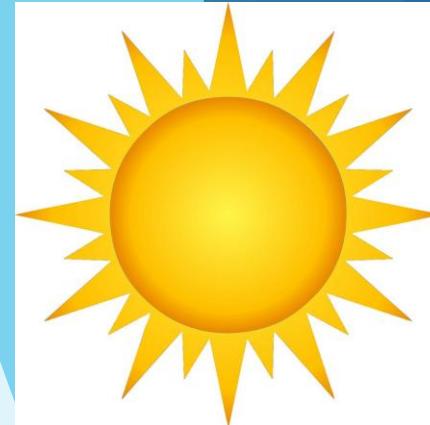
水の駅「壱岐の湧」（善通寺市）



80箇所以上の「出水、湧」
数百年にわたって、かんばつ
などから守ってきた。



詩篇42篇3節：



昼も夜も 私の涙が 私の食べ物

→苦しみが多すぎて、涙ばかり

→8節「昼 夜」とは対照的

人が「おまえの神はどこにいるのか」

詩篇42篇10節も。

4—5節：

作者が思い起こしていること

→かつて神殿で主を礼拝できしたこと

「わがたましいよ」・・なぜ(42:11、43:5)

- 「神を待ち望め」
- なおも神をほめたたえる



6節：

「私の神よ」 呼びかけている

「うなだれている」：

落ち込んでいる、がっかりしている

・ヨルダンとヘルモンの地（北の地域）

・ミツアルの山（ヘルモン山の一部）

→ あらゆるところで、神を思い起こす

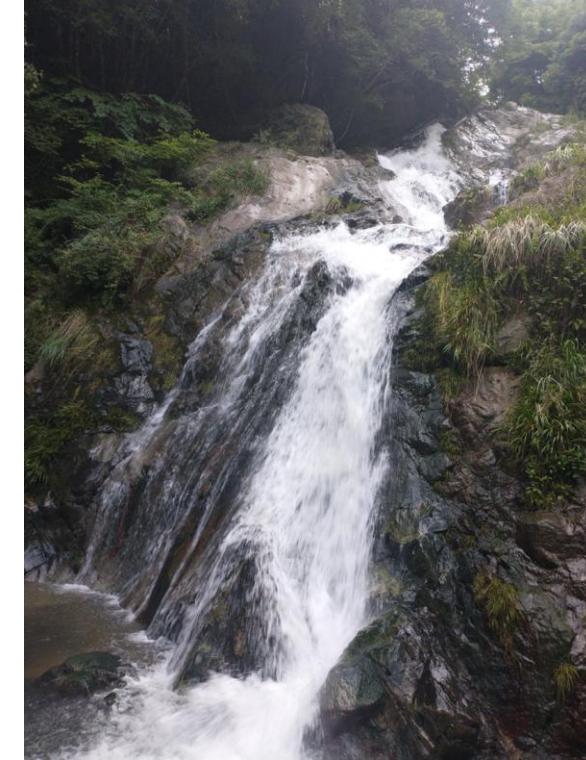


7節:

「あなたの大滝」のとどろき

渕（ふち）が渕を呼び起こす。

→激しい落差の大きな川の流れ



「あなたの波」「あなたの大波」

私の上を超えていく→まるで飲み込まれ
ていくような思い。苦難を試練として。

8節：

昼 主が、恵みを



夜 主の歌が私とともに

私のいのちなる神への祈りが。

「私」という存在はこの神との交わり、「祈り」にあると告白している。つまり、「もう駄目だ!」と思ったその時、神を身近に深く体験できた。「絶望」と「神のご臨在」の体験は、しばしば隣り合わせにある。

9—10節：

巖(いわお)なる神に

「なぜ…」

「なぜ…」



→心の思いを神様に告白する

10節→3節 11節→5節

関連する聖書箇所

・詩篇63篇1節

「神よ あなたは私の神。 私はあなたを切
に求めます。 水のない 衰え果てた乾いた
地で 私のたましいは あなたに渴き 私の
身も あなたをあえぎ求めます。」

・詩篇142篇2節

「私は御前に自分の嘆きを注ぎ出し 私の
苦しみを御前に言い表します。」

まとめ



- ・主が恵みをくださり、主の歌が私とともににある。神への祈りがある。
- ・苦難・失望の中で、変わることのない神様に祈り、たましいの飢え渴きをいやしていただく恵みがある。

今週のみことば

「昼には 主が恵みを下さり
夜には 主の歌が私とともにあり
ます。私のいのちなる神への
祈りが。」

詩篇42篇8節